



学びの祭典

8/7

生涯学習フェスティバル「THE学」が総合学習センターや各地区公民館などで行われました。当日は厳しい暑さにも関わらず大勢の人が集まり、イベントを楽しみました。

拠点となった総合学習センターでは、「堀越二郎紙飛行機教室」や「初めてのボクササイズ教室」など約40もの教室や体験イベントが開催され、あちこちで楽しそうな笑顔が見られました。

参加者は「初めて知った」「いい体験ができた」と学ぶ楽しさに目を輝かせていました。

地元食材を使ったピザづくり体験。思い思いに仕上げます。



日本の文化を体験するリジャイナ市の子どもたち。一生の思い出に。



異文化交流

8/4

8月2日から11日まで滞在していたカナダのリジャイナ市からのホームステイ団。ホストファミリーと一緒に10日間を過ごしました。リジャイナ市とは平成3年から相互交流事業を行っています。来藤した子どもたちは藍染めを行ったり、習字を習ったりして日本の文化を体験、交流しました。初めは恥ずかしそうにしていた両市の子どもたちですが、最後には一緒になって走り回り遊んでいました。「次はリジャイナ市にも遊びに行きたい」と藤岡の子どもたちは意欲を語ってくれました。

当時の様子を伝える遺品を前に戦争について考えます。



戦争の遺品を展示

8/14

戦争の記憶を風化させず次世代に語り継ぐため、藤岡歴史館では藤岡市遺族の会会員が所蔵する戦争遺品の展示を9月11日まで行っています。訪れた人は、解説員から遺品にまつわるエピソードなどを聞きながら感慨深そうに見入っていました。



事故を思いながら、慰霊碑「昇魂之碑」に手を合わせました。

御日航ジャンボ機墜落事故から31年

8/11

群馬医療福祉大学の学生と小中学生と一緒に事故犠牲者のための慰霊登山を行いました。静寂に包まれた林の中に立つ無数の墓標。無情にも多くの命が奪われた場所で悲惨な事故の記憶に触れ、「忘れられてはいけないと感じた」とあらためて犠牲者への追悼と空の安全を願っていました。

川で実際に遊びながらライフジャケットの感触を確かめます。



川の安全対策を学ぶ

7/27

暑い時期に身近な場所で楽しめる「川遊び」ですが、全国的に水の事故が起こるなど危険がいっぱい。そんな事故から命を守るために子どもたちが水辺の楽校でライフジャケットの使い方を学びました。遊びながら楽しく学ぶことで、水の事故を防ぐ術を身に付けました。



力を合わせてミッションクリアを目指します。

夏休みは図書館へ

7/25

休館日の図書館を駆け巡り、6つのミッションに挑戦する「図書館おもしろ探検隊」が行われました。参加者は配られたマップを頼りに、自分の生まれた日の新聞や指定された本などを探します。館内には「次はあっちへ行こう」という楽しそうな声が響いていました。